

研究構想シート	学校名	益田市立戸田小学校
	氏名	平谷育子
A 研究主題 伝え合い 認め合い よりよくかかわろうとする 子どもの育成 ～学級活動（話し合い活動）を中心として～		
B 研究の目的 よりよい生活になるように課題を見つけ、解決に向かって自分たちで話し合い活動ができるようにする。		
C 子どもの実態 ・友達の考えを分かろうとして聞く子どもが多い。 ・自分の思いを言える子どもと出来ない子どもがいる。 ・思いを伝えられないで追従する子どもがいる。 ・他者の発言を誤って受け取り、すれ違いやどらブルが起きることがある。 ・問題を自分たちでは解決できない。	E 手立て・内容（研究仮説） 話し合い活動の仕方や意見の伝え方などを提示すれば、合意形成の仕方が分かり、自分たちで話し合うとしよう。  ○学級活動の年間指導計画の作成（計画的に話し合い活動を行う） ○話し合い活動（学級会）のあり方を実践を通して探る。 ○教師の支援の仕方を探る。（事前・事後指導。本時での関わり方）	D めざす子どもの姿  ・自分の考えや気持ちを相手に伝えようとする ・人と違う意見でも自信をもって言える。 ・相手の気持ちを汲み取ろうとする ・人の考えも受け入れられる。 「それも分かる」 「なるほどな」 「そういう意見もあるよな」 ・多様性を認めることができる。 ・話し合って、自主的に解決しようとする ・いろいろな意見を聞いて、合意形成を図ろうとする。折り合いが付けられる。 ・話し合ってみんなで実行することに喜びを感じられる。 ・協力して、より良い生活にしようとする。 ・失敗を恐れず、発言、チャレンジする。
	F 検証方法  ○アンケートを実施し、児童の実態把握と変容をみる。（5月、12月） ○授業研究・研究協議 ○教員間の情報交換	
	G 研究計画  4月・今年度の研究について・ 5月・今年度の研修計画 ・1回目児童アンケートの実施 6月・1回目児童アンケートを受けて・ 8月・出前講座（特別活動） 11月・校内公開授業（6年目研）（市教委学校訪問） <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">1人1授業の実施</span> 12月・2回目児童アンケート実施・ 1月・2回目児童アンケートを受けて・ 2月・今年度の研究の振り返りと来年度の方向性・ 3月・来年度への引継ぎ・	